

米国 Abalta Technologies 社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、車載ソフトウェアの開発・販売を行う米国 Abalta Technologies,Inc.(本社:カリフォルニア州トーランス市、以下、Abalta Technologies 社)の株式を75%取得し子会社化することとしましたのでお知らせいたします。

ゼンリンは中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN2020(以下、ZGP2020)」(2016年3月期~2020年3月期)において、ニーズに対応した商品・サービスの提供にとどまらず、地図情報の新たな利用価値創造により、連結売上高700億円(2020年3月期)を目標に掲げ取り組んでいます。中でも海外事業においては「新興国エリアのビジネス基盤構築」を基本方針とし、連結売上高45億円(2020年3月期)を目指して取り組んでいます。

Abalta Technologies 社は、スマートフォン上のアプリケーションを車載機器に表示したり、スマートフォン上のアプリケーションを車載機器から操作を可能にするためのソフトウェア(WebLink)や、スマートフォンをゲートウェイとしてデータ通信を行うコネクティッドビークルを実現するために必要な環境(SmartLink)を提供しています。SmartLink はスマートフォンを介して、通信で車載機器のソフトウェアや地図の更新を確実に実現することも可能です。また、車載インフォテインメント(IVI:In-Vehicle Infotainment)システムにおける各種車載ソフトウェア開発キットや、地図を使用した位置情報に関するソフトウェアの開発を手掛けており、今後成長が見込まれる新興国エリアに、柔軟性のあるソリューションを提供する開発力を持ち合わせています。

ゼンリンは、Abalta Technologies 社の子会社化により、これまで国内外で培ったカーナビゲーション向け地図データ整備やコンテンツ整備のノウハウに加え、車載ソフトウェアを組み合わせたソリューション提供により、海外事業を中心とした事業強化を目指します。

■ Abalta Technologies 社の概要

社名	Abalta Technologies,Inc
設立	2003年
所在地(本社)	カリフォルニア州トーランス市
所在地(開発拠点)	カリフォルニア州サンディエゴ市、ブルガリア国ソフィア市
代表(CEO)	Michael O'Shea
事業内容	車載向けソフトウェア・ソリューション・位置情報ソフトウェアのライセンスおよび受託開発